

## 花の木古墳群・花の木遺跡発掘だより

### No.6

#### ◎古墳群の周溝の様子が分かってきました

各古墳の周溝を探す作業が終わりました。周溝は円を描くように墳丘を回っています。このことから丸い墳丘を持つ円墳で古墳群が構成されていることが分かりました。

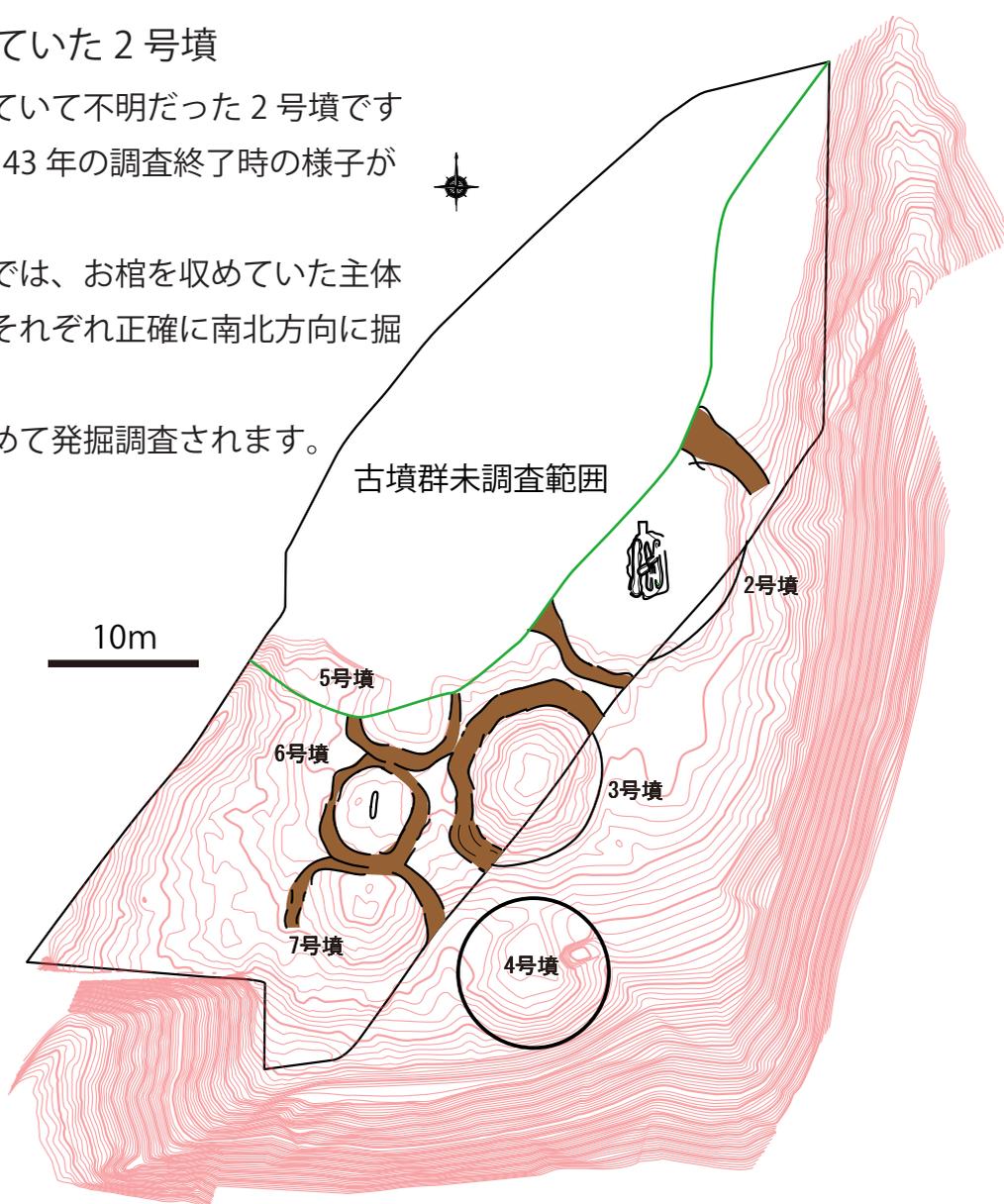
6号墳の周溝は浅いところで10cm程度ですが、3号墳の周溝は深いところで60cmもあります。

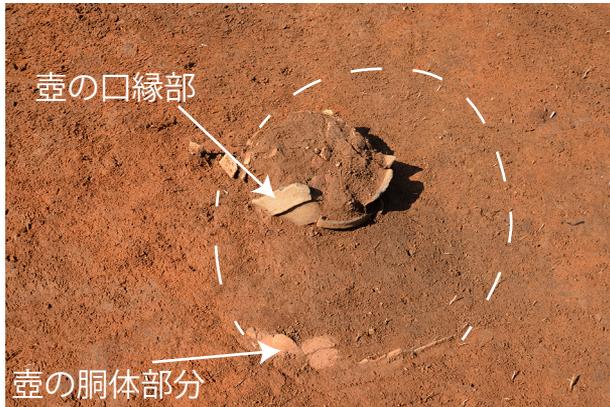
#### ◎盛土に覆われていた2号墳

盛土に覆われていて不明だった2号墳ですが、徐々に昭和43年の調査終了時の様子が見えてきました。

古墳の平坦部では、お棺を収めていた主体部は3つあり、それぞれ正確に南北方向に掘られていました。

周溝は今回初めて発掘調査されます。





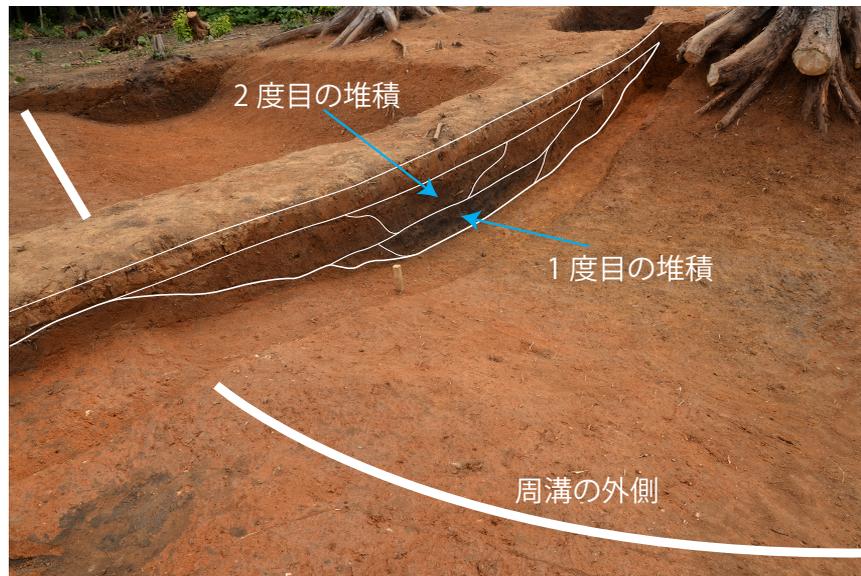
7号墳周溝付近出土の土器棺？

お墓には壺などが転用される場合もあります。胴体部分が下に埋まっています。破線の部分が周囲と土の色が違います。



7号墳周溝出土壺

こちらは周溝の底から出土しました。古墳にお供えしたものが壊れています。



3号墳北側周溝堆積状況

3号墳北側周溝が埋まった過程が分かりました。古墳の墳丘は前回示したように、周溝を掘った土を盛り上げて造られます。古墳が造られて月日が経つと、雨で墳丘が流されて周溝が埋まります。土層の堆積状況から大きく2度の墳丘の流出があったことが確認できます。

遺跡の発掘調査ではこのように土層断面を残して掘削することで、どのようにして埋まったのか確認することが出来ます。

～．．．．．～発掘調査だより No.6～．．．．．

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163（担当：早野、社本）

ホームページ <http://www.maibun.com/>

受託者：安西工業株式会社

名古屋支店 TEL：052-769-6500

現場代理人 TEL：090-3704-3565（中谷）